

ツール実行環境アップデートガイド

1. はじめに

本書は、Generative AI FWにおいて、Generative AI FWサーバの利用者向けにツール実行のためのpython実行環境のアップデート手順を記載したものです。

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することは禁止します。

1.1. 用語定義について

用語定義については「スタートアップマニュアル（概要編）」をご確認ください。

2. 前提条件

- 本書に記載の手順は全てサーバの管理者ユーザなどの**管理者権限を持つユーザで行う必要**があります。一般ユーザでしかログオンできない環境の場合は以下を実行し、管理者ユーザに昇格させてください。もしくはコマンド実行時に「sudo」を付けてください。

```
1 sudo -i
```


- 本書に記載の手順はサーバにログオンしている状態である必要があります。
- Generative AI FWのアップデートが事前に完了している必要があります。

3. アップデート手順

3.1. バックアップ

アップデート前の環境のバックアップを取得します。

バックアップ取得方法については、ツール実行環境利用ガイドの「バックアップ・リストア」を参照ください。

-  ツール事項環境を使用していない場合はバックアップするデータがないため本手順は不要です。
- /opt/nec/genai_tool/shareに消えると困るデータがある場合のみバックアップを実施してください。
- アップデート後の正常性確認で問題なければバックアップデータは削除していただいて問題ありません。

3.2. コンテナ停止



ツール実行環境のコンテナはサーバ起動時には起動していません（手動で起動する手順になっております）

ツール実行環境のコンテナを停止します。

```
1 podman stop jupyter_container
```

ツール実行環境のコンテナが起動していない場合、以下のようなコンテナが見つからない旨のメッセージが返却されますが問題ありません。

```
1 Error: no container with name or ID "jupyter_container" found: no such container
```

3.3. アップデートディレクトリ作成

アップデートモジュールを格納するディレクトリを作成します。

```
1 mkdir /opt/nec/genai_tool/upgrade
```

3.4. アップデートモジュール配置

インストール物件の圧縮ファイルを /opt/nec/genai_tool/upgrade に配置します。

以下コマンドを実行して圧縮ファイルを解凍します。

```
1 cd /opt/nec/genai_tool/upgrade
2 tar -zxvf genai_tool.tar.gz
```

3.5. 設定ファイル更新

/opt/nec/genai_tool/upgrade/genai_tool/share/scripts/genai_tool.env ファイルを修正します。

以下の項目については、バージョンアップのファイル (/opt/nec/genai_tool/share/scripts/genai_tool.env) に指定していた値を指定してください。

i バージョンアップ前に未指定の項目は未指定のままにしてください。

- JUPYTER_HASHED_PASSWORD
- ALLOWED_IP_ADDRESSES

3.6. アップデートスクリプト実行

アップデートスクリプトを実行します。

```
1 cd /opt/nec/genai_tool/upgrade/genai_tool/operation
2 bash genai_tool_verup.sh
```

実行時に以下の確認メッセージが表示されます。問題ない場合は「y」を入力してください。

```
1 Are you sure you want to 2.1.0 upgrade Generative AI FW Tool? [y/N]:
```

実行中に以下の確認メッセージが表示された場合は、「y」を入力してください。

```
1 Self-signed certificate will be created in the directory '/opt/nec/genai_tool/share/certs'. Is this okay? [y/
```

証明書ファイルと秘密鍵ファイルを上書きされる旨の確認メッセージが表示される場合があります。

上書きし、更新したい場合はそれぞれ「y」を入力してください。

```
1 Certificate file '/opt/nec/genai_tool/share/certs/self-signed-genai-tool.pem' already exists. Do you want to
2 Private key file '/opt/nec/genai_tool/share/certs/self-signed-genai-tool.key' already exists. Do you want to
```

バージョンアップに成功すると以下のメッセージが表示されます。

```
1 . . .
2 version upgrade succeeded.
```

3.7. 証明書変更

バージョンアップ時ではHTTPSで使用する証明書は自己証明書となります。

自前の証明書を利用する場合は、ツール実行環境利用ガイドの「HTTPSの証明書設定」を参照して、払い出した証明書を設定してください。

3.8. アップデートディレクトリ削除

アップデートモジュールを格納したディレクトリを削除します。

```
1 rm -rf /opt/nec/genai_tool/upgrade
```

以上でアップデートの手順は完了になります。

4. 切り戻し手順

アップデート後に不具合が発生し、前バージョンに切り戻すは以下の手順を参照ください。

4.1. ツール実行環境のアンインストール

アンインストールガイドの手順に従って、ツール実行環境をアンインストールします。

4.2. ツール実行環境のインストール

ツール実行環境利用ガイドに従って「3.1. バックアップ」と同じバージョンのツール実行環境を構築します。

4.3. アップデート前のデータでリストア

i アップデート前にバックアップをしていない場合、本手順は実施不要です

「3.1. バックアップ」で取得したバックアップデータでリストアします。
リストア方法については、ツール実行環境利用ガイドの「バックアップ・リストア」を参照ください。